■2017年11月 生活歳時記（気候・消費動向・ストア販売動向）

九州版

週	第1週			第2週							第3週							第4週							第5週						
2017年　日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
2017年　曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
行事 歳時 記念日	すしの日 紅茶の日 泡盛の日	野沢菜の日 本格焼酎の日 玄米茶の日 （11/1）	みかんの日 調味料の日 サンドウィッチの日		いいりんごの日 いい酵母の日		鍋の日 もつ鍋の日	いい歯並びの日 いいお肌の日			豚まんの日 チーズの日 きりたんぽの日	鮭の日 麺の日 もやしの日 （11/11）	ピーナッツの日 （11/11）		かまぼこの日 こんぶの日	自然薯の日	蓮根の日	カスピ海ヨーグルトの日		いいかんぶつの日 ピザの日	フライドチキンの日 かきフライの日	いい夫婦の日	牡蠣の日 あんこうの日 珍味の日	鰹節の日 和食の日		いいプルーンの日			いい肉の日	本みりんの日	カレー南蛮の日

◆亥の子（11/1）

◆文化の日（11/3）

◆立冬（11/7）

◆土用の明（秋の節分）（11/6）

◆文化祭・秋の行楽シーズン

◆七五三（11/15）

◆ボジョレーヌーボー解禁（11/16）

◆勤労感謝の日（11/23）

◆小雪（11/22）

♪給料日

2016年　日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
2016年　曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
天気 ※熊本	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	快晴	曇時々雨	晴	雨時々曇	晴	晴後曇	晴後曇	雨時々曇	晴時々曇	快晴	晴後薄曇	曇時々雨	曇時々雨	曇	曇一時雨	晴一時曇	曇時々晴	曇後晴	晴	曇時々晴	雨後曇	晴時々曇	晴	曇時々晴	曇
最高気温 ※熊本	19.2	18.9	18.5	19.7	21.9	23.7	21.1	19.5	18.7	14.1	19.1	20.5	23.8	19.0	22.6	20.3	21.5	17.6	22.7	21.7	19.8	22.5	17.7	12.9	13.7	16.1	13.9	13.7	15.5	16.1	17.6
最低気温 ※熊本	8.9	5.8	6.4	6.0	8.4	10.7	10.5	10.7	9.5	11.1	10.1	7.8	10.0	15.9	12.9	9.9	7.7	10.7	15.2	16.1	14.2	13.1	12.3	4.6	1.9	3.9	11.5	5.4	2.7	5.1	8.8
年間支出順位	内食順位：30位（平日：24位・休日：46位）				内食順位：20位（平日：5位・休日：49位）							内食順位：38位（平日：32位・休日：36位）							内食順位：15位（平日：12位・休日：47位）							内食順位：23位（平日30位・休日：15位）					

■2016年11月資料

※総務省　家計調査より

九州 沖縄						
	前年11月消費支出金額	255,533円	前年11月食費支出金額	69,120円	前年11月光熱費支出金額	16,638円
	前年同月差異	-4,451円	前年同月差異	4,226円	前年同月差異	-747円
	前月差異	-14,181円	前月差異	732円	前月差異	-1,260円

SM売上総額前年比（前月） ※日本スーパーマーケット協会マンスリーレポートより
102.2%（102.1%）
青果
113.0%（106.3%）
精肉
100.8%（100.5%）
鮮魚
97.4%（99.6%）
惣菜
102.4%（102.5%）
日配
101.8%（102.9%）
加工食品
100.7%（101.9%）
生活関連
100.6%（100.9%）

青果	●野菜は相場高の影響を受け、販売点数が減少したものの、単価上昇により売上を引き上げた。 ●野菜が高かったことから、価格が相場に左右されないカット野菜やもやしが好調であった。 ●果物は、糖度が高く食味が良かったみかんが好調であった一方、いちごや相場高だったりんごが不調であった。
精肉	●牛肉は好調とのコメントが多かった。ステーキや切り落としが売上を伸ばした。 ●豚肉、鶏肉は不調であった。鍋需要の低迷により、豚肉のうす切り肉や鶏肉の切身などの動きが鈍かったことが要因。 ●加工肉は、WHOの研究機関による発がんリスクの発表から1年が経過し、一部に回復傾向がみられるものの、対前年の売上からの伸びは低い。
鮮魚	●刺身が好調とのコメントが多かった一方、鍋物商材は好不調が分かれる結果であった ●生するめいか、生秋鮭が不調であった。水揚げ量の減少や相場高など、販売環境が厳しい状況が続いている。
惣菜	●天ぷらやフライ、鶏の唐揚げなどの揚げ物が好調であった。 また、カキフライの販売強化の事例が多く、大粒の展開やばら売りによる拡販で成功している。 ●前月に引き続き、野菜が高いことからサラダや和惣菜が好調であった。
日配 加食	●引き続き、ヨーグルトが好調となっている。インフルエンザ流行の兆しにより、更にニーズが高まっている。 ●加工食品は、米が好調であったほか、鍋つゆ、スープ、即席めんなどが気温の低下に伴い売上を伸ばしている。 ●野菜が高いことから、冷凍野菜、野菜飲料、漬物が好調であった一方、酒粕や麹などの漬物商材は大きく売上を落とした。
他	＜ボージョレ・ヌーボー、冬ギフト＞ ●ボージョレ・ヌーボーは高単価の商品、ハーフサイズが好調であったが、売上ボリュームは減少傾向となっている。 地域の国産ヌーボーなどが人気で購買のシフトもみられる。 ●ボージョレ・ヌーボー解禁に合わせて、ローストビーフ、チーズ、インストアベーカリーのバゲットなどの提案の事例があり、概ね好調であった。 ●冬ギフトは、果物、スイーツ、菓子ギフトなどの動向が良かったほか、 昨年はWHO発表の影響を受けて低迷したハムギフトが回復傾向となっている。

11月の注目アイテム年間順位（16年家計調査データより）

注目アイテム	10/29～11/4	11/5～11/11	11/12～11/18	11/19～11/25	11/26～12/2
キャベツ	2	1	4	3	8
はくさい	2	3	4	1	7
もやし	1	2	3	9	16
だいこん	1	3	10	9	7
りんご	9	12	3	5	2
柿	2	3	1	8	6
鶏肉	15	6	10	18	7
ぶり	23	21	16	20	7
かき（貝）	19	16	17	14	10
他の主食的調理食品	14	12	7	4	8
他の魚肉練製品	10	7	6	3	14
チーズ	11	23	5	3	13
スパゲッティ	47	23	49	7	44
つゆ・たれ	8	10	12	7	5
ワイン	12	40	3	7	17

年間順位	ベスト10以内	注目週	（赤文字）